

【セルフチェックシート】

保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト

～「子どもを尊重する保育」のために～ (全国保育士会)より抜粋

①「子どもひとりひとりの人格を尊重しないかわり」

- 制作活動の中で、子どもの作品を見て、「そこ違うよ、もう一枚描いてみる？」とだけ言って、描きなおすように働きかけた。 していない している(したことがある)
- 排泄の失敗への対応をその場で行ったり、周囲に知らせたり、その失敗を責める言葉がけをする。 していない している(したことがある)
- 子どもが友だちをたたく等よくないことをした際に、執拗に攻めるような言葉がけをする。 していない している(したことがある)
- 子ども同士のトラブルが起きた時、子どもたちの言い分を聞かず、一方的に判断を下す。 していない している(したことがある)

②「物事を強要するようなかかわり、脅迫的な言葉がけ」

- 集団行動をするための言葉かけをした際、言葉がけを聞かない子どもに「○○しないなら○○できないからね」と言葉をかける。 していない している(したことがある)
- どなったり、「○○しなさい」との言葉や子どもが怖がるもの(お化け等)を使ったりして、子どもを支援者の思いどおりに動かそうとする。 していない している(したことがある)

③「罰を与える・乱暴なかかわり」

- 並ぶときなどに、子どもの自発的な行動を待たず、腕をつかんで引っ張る。 していない している(したことがある)
- 子どもを注意する際に、「だめよ！」と言って、子どもの手をたたいたり手を引っ張る。 していない している(したことがある)

④「ひとりひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかわり」

- 服がよごれている、お風呂に入っていない、提出物の遅れ等の際に、子どもに「また○○ちゃんのお母さん忘れたの。いつも忘れて困るね」や「昨日お風呂に入れてもらわなかったの」など否定的な言葉がけをする。 していない している(したことがある)
- 「お休みの日にどこに行ったかお話して」との問いかけについて、その場にいる子どもたち全員に発表してもらう。 していない している(したことがある)

⑤「差別的なかかわり」

- いつまでも泣いている子に「男の子だからいつまでも泣かない」や、乱暴な言葉遣いをする子に「女の子だからそんな言葉を使ったらいけない」と注意する。 していない している(したことがある)
- 全員で帰りの支度をしているときに、なかなかできない子どもに「○○ちゃんはいつでも早くできないね。困っちゃうよね」と言ったり、みんなの前でも言う。 していない している(したことがある)
- 利用者に対して、「ちょっと待って」を乱用し、長時間待たせていませんか？ していない している(したこともある)
- 利用者に対して、アセスメント・施設サービス計画書に基づかず、あだ名や○○ちゃん呼び、呼び捨てなどをしていませんか？ していない している(したこともある)
- 利用者に対して、威圧的な態度、命令口調(「○○して」「ダメ！」など)で接していませんか？ していない している(したこともある)

○他の職員に仕事に関わる相談ができない等、職場でのコミュニケーションがとりにくくなっていませんか？

なっていない
なっている(なることがある)

○他の職員が行っているサービス提供・ケアに問題があると感じることがありませんか？

感じることはない ある(感じることもある)

○私は、利用者・利用者家族へ、丁寧な応対や言葉遣いで接している。 ()

○私は、利用者などに暴力を振るっていない。 ()

※身体的暴力だけでなく、言葉の暴力や性的暴力などもしていないか

○私は、利用者や利用者家族へ、命令調の指示や、大声での叱責や選択の強要を行っていない。

()

○私は、利用者や利用者家族に、感情的な態度をとっていない。 ()

○私は、利用者の支援を検討する際に利用者の意向に配慮できている。 ()

○私は、利用者の支援に関して、迷いあるときは他の職員と相談して進めている。 ()

※一人よがりで行っていないか、咄嗟の対応でしたことも、後で共有できているのかなど

○私は、他の職員に対し、人格を否定するような言動はとっていない。 ()

○私は、セクハラパワハラなどを行っていない。 ()